

# ぞうぐみだより

2020年度 3月号

社会福祉法人尚徳福祉会 生麦保育園

春を感じる陽気が続き、ぞう組の卒園が近づいていることを日々実感してきた今日この頃。子ども達は就学に向け、ランドセルの色やどんな文房具を買ったのかを教えてください。新しい生活への移行を不安に思う子もいれば、期待を膨らませている様子も見られますが、子ども達が安心して卒園を迎えられるように、保育園生活最後の1ヶ月を楽しく過ごせるように努めていきたいと思ひます。



毎日、劇あそび等楽しんだおたのしみ会！2月に全園児、職員に見てもらい、DVD撮影も行いました。何日も前から楽しみにしていましたが、いざ舞台上立って幕が開くと目の前にたくさんの観客がいて緊張した様子の子もたち。慌てて台詞を言ったり、動いてしまう姿もありましたが、やっぱり観客がいるとなると最大限に力を発揮するぞう組！声も大きく、凛々しい姿を見てもらうことができました。夏明けからずっと楽しんできた『エルマーのぼうけん』は自分が演じた役はどう動いたら良いのか、セリフを言うのかを考えながら役になりきって演じました。合奏は他の楽器のリズムに惑わされずしっかり力強く演奏していました。うたはさすがぞう組！長いうたでも大きな口で綺麗な声で歌っていました。他のクラスの先生たちに「格好良かったよ」と、たくさん褒めてもらい嬉しそうで達成感に溢れた表情でした。



豆まきは赤鬼、青鬼がテラスから登場！怖くてビックリし過ぎて、声も出ずに黙って黙々と必死で豆を鬼に投げていて、途中からやっと「鬼は外ー！」の声が聞こえてきました。泣いてしまう子はいませんが顔は強張った表情。「全然怖くなかったよ」と強気な発言でしたが、窓がドンと音が鳴ると、ビックリして逃げる！保育園で一番大きい年長児とはいえ、まだまだ可愛いですね。豆まき後は恵方巻づくりをしました。個々でのり、酢飯に具材を乗せて巻き巻き。みんなで南南東を向いて立ち、願い事を心の中で言いながら食べました。すぐに座って喋りだす子もいれば、最後まで南南東を向いて黙って食べる子もいました。自分で作った恵方巻なので、残さず最後まで完食です！



ひな人形制作を行いました。新聞紙を丸めて上から好きな色のお花紙を巻いて、好きな柄の千代紙を貼りました。玄関に飾ってあるひな人形を見て参考にし、顔を描いたり髪飾りを考えたので、みんな同じでは無く各々自由に作り上げました。

雛壇にして飾ると嬉しくて何度も見に行き、友だちと「着物は〇〇色にしたんだね」「可愛い！」と見て喜んでいました。最近は様々な制作をすると、保育者の手伝いがなくても自分たちで自由に作り上げることができるようになり、成長を感じています。



## 卒園を祝う会のお知らせ

日時：3月27日（土）8時30集合  
おたのしみ会で発表した劇等も当日披露する予定ですので、朝早い登園ですが、ご協力よろしくお願ひいたします。詳細は後日お手紙でお知らせします。



今年度のぞう組は新型コロナウイルスに振り回され、当たり前だった日常が変わってしまいました。その中でも日々楽しいことを見つけて過ごす子どもたちの圧倒的なパワー！他クラスとの交流が少なくぞう組で過ごすことが多く、友だちとの友情、信頼関係は強いものになりました。

保護者の皆様にはご理解ご協力いただき、ありがとうございました。残り1ヵ月、子どもたちと思ひ切り楽しい毎日過ごし、自信を持って小学生になって欲しいと思ひます。

